

『世界の原子力市場制覇に動き出した中国： 新型炉開発から原子力輸出戦略まで』 セミナー開催のご案内

福島事故後、中国の原子力開発は修正を余儀なくされましたが、事故から3年が経とうとしているなかで、原子力開発の方向性が固まってきました。

2013年には、寧徳1号機と紅沿河1号機が商業運転を開始したほか、陽江5・6号機、田湾4号機が新たに着工しました。さらに2014年には800万kWを超えるユニットが戦列に加わると見られています。福島事故後に棚上げされた内陸部のプロジェクトも、地元の強い要請を受け具体化してきています。

2016年から始まる「第13次5ヵ年」期の原子力政策をどうするかを検討も始まりました。この中では、使用済み燃料の中間貯蔵問題の切迫化を踏まえ、国内外の使用済み燃料再処理技術の分析を行い、中国としての使用済み燃料再処理の具体策が提示される見込みです。

中国が目指す「原子力強国」の確立に向けて、中国政府の原子力輸出戦略も明らかになりつつあります。昨年来、中国を代表する原子力事業者による海外展開は大きく動き出しました。そうした動きの中で注目されるのが炉型戦略です。中国核工業集团公司と中国広核集団有限公司はそれぞれ独自の第3世代炉を開発し、輸出の主導権を握る方針でしたが、政府の指導により「統一型炉」を開発することが明らかになりました。出力10万kWの小型PWRの建設も間近に迫っており、国内での実績をアピールし海外展開をはかるものと考えられます。

中国は、「第4世代炉」に分類される新型炉の開発にも積極的に取り組んでいます。2012年12月に山東省で着工した高温ガス炉（HTGR）については、国内で続々と新規のプロジェクトが浮上してきています。HTGRは、軽水炉での劣勢を挽回する切り札として世界市場、とくに発展途上国での展開をねらっています。このほか、核燃料サイクルを回すうえで不可欠な高速炉戦略が固まったことも注目されます。さらに、トリウム溶融塩炉の開発も本格化してきています。その一環として、溶融塩炉国産原子力級黒鉛研究センターも設立されました。

中国は「原子力強国」をめざし、あらゆる分野で主導権を握ろうとしています。

セミナー概要

日時：2014年3月4日（火） 13:30～15:30

会場：日本技術者連盟 セミナールーム
東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F
地下鉄銀座線/南北線溜池山王駅 8番出口
地上にあがった左横のビル 5Fです。

共催：一般社団法人日本技術者連盟
日本テピア株式会社

■次第 13:30～13:35 開会の挨拶
13:35～15:00 基調講演



松井 一秋 氏
財団法人エネルギー総合工学研究所
研究顧問 主席研究員
■世界におけるSMRの現状と見通し



窪田 秀雄 氏
日本テピア株式会社テピア総合研究所主席研究員
■中国における新型炉開発から原子力輸出戦略まで

15:00～15:25 質疑応答
15:25～15:30 閉会の挨拶

「SMR」（モジュール方式の小型炉）と「中国」が世界の原子力界を左右するキーワードとなってきました。

日本技術者連盟と日本テピアは、ご案内の通り、2つのテーマを内容としたセミナーを開催する運びとなりました。この機会に是非、ご参加賜りますよう、ご案内申し上げます。

お申し込み方法

申込み：事前申込制
定員：50名
(定員になり次第締め切らせて頂きます)
参加費：無料
申込み方法：必要事項をご記入の上、FAX: 03-6229-1940 又は E-mail: gyomu@jef-site.or.jpにてお申込み下さい。
尚、ホームページ(URL: <http://www.jef-site.or.jp/>)からもお申込み頂けます。

〈お問合せ〉 一般社団法人 日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940

Email: gyomu@jef-site.or.jp <http://www.jef-site.or.jp/>

参加申込書

貴社名/貴団体名		所属学会団体名	
部署名		役職	
お名前		E-mail	
ご住所	〒		
TEL		FAX	

※お申込みの際に頂きました個人情報は、主催者・事務局および協賛団体に説明会受付・実施を行う目的に使用いたします。また本帰国報告会に関連する他のセミナー・研修のご案内をお送りすることがあります。
※個人情報の開示・訂正・利用停止につきましては、誠に恐れ入りますが事務局までご連絡頂ければ対応いたします。